

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、24～26℃台を示し、平年並み～やや低めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マイワシが1日1統当たり45トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。北松南部地区では、マイワシなどが1日1統当たり18トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣――スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり11kgの水揚げで、前週の2.8倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり7kgの水揚げで、前週の14%（前年を上回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり59kgの水揚げで、前週の67%（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり222kgの水揚げで、前週の17%（前年を上回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり3kgの水揚げで、前週の14%。
- 定置網――五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり470kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり51kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり214kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり140kgの水揚げで、前週の1.6倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

沖合イカ釣り 鳥取県（9/30～10/5）

沖合船（船凍船）は、八戸沖のスルメイカ漁に出漁中。

沿岸船（氷蔵船）は、壱岐・対馬沖、山口沖、山陰沖、能登半島沖、佐渡沖で操業。

沖合いか釣（鳥取県西部・19トン小型船）は、入港船延7隻がケンサキイカ324箱を、1航海最高131箱、平均46.3箱の水揚げ。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「組織で探す⇒研究機関等⇒総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp>